

令和 6 年 1 月 30 日発行



社会福祉法人 泰仁会
特別養護老人ホーム「やさと」

石岡市小倉 4 4 2 - 1
TEL (0299) 43-0811代

特別養護老人ホーム「桜の郷 元気」

東茨城郡茨城町桜の郷231-7
TEL (029) 292-3900代

さわらび

第 82 号



どっちにする？(桜の郷元気)

泰仁会ホームページ

泰仁会

検索



泰仁会ホームページ



やさとブログ



こぎつねの郷ブログ

題字「さわらび」について

題字の「さわらび」は泰仁会創始者である、江畑隆夫先生(理事長)のご夫人である江畑昭子様が、直筆にて創刊号に寄せてくださったものを継承しています。

「早蕨」(芽を出したばかりのワラビ)という意味があり、創立当初より泰仁会の永続発展を願っていたことがわかります。広報誌「さわらび」も第82号までに成長しました。

再開



理事長 桜元直人
常務理事 永山直人
会元 桜元直人
仁会 永山直人

るでしょう。有事には、最大の社会貢献活動となるはずです。

泰仁会は、阪神・淡路大震災が発生した平成7年に、法人認可を受け、30年の道のりの中では東日本大震災も経験しました。そのような意味においては、法人運営の中では常に「危機管理」というものと隣り合わせであったと言えます。法人理念である「あつてよかつた・いてよかつた」を永続させていくためには、今後もしっかりと、取り組みをしていくつもりです。桜の郷元気においては、開設20年目にあたる現在、施設サービスを受ける際、主役となる利用者・入居者のみなさんに、今一度なりきって、対応にあたるように、をスローガンに掲げています。

新しい年を迎えたばかりの元日の夕べに発生した、能登半島地震においては多くの方々が被災され、未だ行方不明の方も多く、被災地の方々が極寒の中で耐え忍んでいる恐怖・悲しみ・苦労を思うと、胸が痛く、そして苦しくなります。私だけではなないでしょう。一日でも早く、被災地の方々にいつもの暮らしが戻ることを祈るばかりです。法人では特養やさとに、災害時に備えた「非常用自家発電機」（72時間対応）の設置を既に、昨年末の理事会で決定しており、この年明けから工事着工が決まっております。入居者・利用者、職員ばかりではなく、災害時には地域の方々の「心のよりどころ」とな

って感じ取ってもらい、ケアに活かしてほしいと常に語っているところです。今般の介護報酬改定等の議論の段階でも、「ユニット型介護施設のユニットケアの質の向上」が検討されておりましたが、なかなか期待通りの効果が出てこないのは、ユニットケア（個別ケア）を、しっかりと学習していかないことにもその一因があります。理念・目的、そして到達・成功した時のイメージをしっかりと持つことも必要かと思えます。

「個別ケア」の一つの手法となる「ユニットケア」は、しっかりと提供できているのかと、常に検証し、基本に立ち戻り、サービスを提供するよう心がけています。日々、忙しさに流されていても忘れずに、「利用者体験」を職員自身が体験できる時間を作るように促し、車いすに着席した視点で、入居者・利用者の感じる「匂い・目に映るもの・聴こえるもの」等を、我々の五感を持

に、ユニットケアの実地研修施設としての指定を受け運営をしております。指定を受け運営をしております。調査を受け、指定施設としての運営を再開させたいと思っております。それがそが我々、桜の郷元気拠点としての社会貢献活動となるのではないのでしょうか。また、研修指定施設を目指す過程の中で、組織としての一体感と結束力を高めていきたいとも考えています。桜の郷元気には、まだまだその底力があるはずで

す。先日もユニット内を歩いていると、一人のスタッフが、ある入居者に「どちらにしますか？」とやさしく声掛けをしています。言葉が上手に出ない、その方は、指で示しています。このように自律支援のケアは、小さな自己決定の積み重ねかとも思います。遠目にも二人の信頼関係を見ることができました。「どうしますか？」「どちらにしますか？」「スタッフからのこんな言葉かけが、施設内からたくさん聴こえてくれれば、研修指定施設に戻れるはずですよ。そして、利用者の方々の「自律度」も向上してくるはずですよ。

正月恒例の箱根駅伝で、アナウンサーがある大学の監督のコメントを伝えていました。「毎年、運営管理車から10人・合計10時間、襷を背負って走っている学生の背中を見てきた。入学からの4年間で、こんなに凛々しく、逞しい背中になったと、親御さんにみせてあげたい」と。私は、私の職場で、入居者・利用者のために一生懸命に働いている職員の姿を、是非職員のご家族にも見てほしいなど、いつもいつも思っているのです。

（令和6年1月15日）

地域のための介護教室

桜の郷元気生活相談員 小泉 洋平・高橋 まゆみ

このたび桜の郷元気では地域の皆様の何か力になれることはないか考え、介護教室を開催しました。施設としては初めての事であり、どのような方法で地域の方々にご案内し参加して頂けるか考えていたところ、地域の集まりでお付き合いがある大戸地区社会福祉協議会の会長様にコソタクトを取り、まず大戸地区の区長会を通してみてはどうかとの助言を頂き大戸地区区長会会長様、副会長様に相談し、大戸地区の各地区区長様に案内を持参し回覧板で告知して参加者を募ってみてもいいのではと助言してくださいました。本当に桜の郷元気は地域の皆様に支えられていると実感した瞬間でした。その後案内を作成し介護教室の開催目的を説明に各地区の区長様宅へ伺い9つの地区に回覧板で協力いただき、当日は合わせて二十名の方にご来園いただくことができました。

桜の郷元気では、茨城県福祉サ-



腰痛予防を行う為にはどうしたらいいかを伝えたいと考え今回の介護教室の内容とさせて頂きました。
要介護状態にあるご家族をケアするためにはまずご自分の健康を維持し、腰痛を防いでいく必要があります。腰痛予防体操や実際に福祉用具を活用し体験する事で身体に加わる負担の違いなど感じて頂けたと同時に地域の方々を始め職員とも関わりを持つことで活発な質問やアットホームな雰囲気で開催できました。



こういった活動から家族介護の大変さが少しでも解消される場となり、地域の方の声に耳を傾けることで、専門職としてもさらにやりがいを感じ、成長できる機会となると感じました。
今回の開催をきっかけに今後も桜の郷元気を活用して頂く事で、地域のネットワークづくりの場になること、住民同士のニーズ、興味の重なり合いから新たな地域活動が生まれ、地域福祉の発展に繋がっていくと感じます。今後も地域のためにできることを考え、積極的に社会貢献活動に取り組んで行きたいと思えます。

★ご利用者の笑顔

デイサービス桜の郷元気

介護職員 小沼 友乃

桜の郷元気デイサービスではご利用者の楽しみを数多く企画しております。毎日行っている日替わりレクリエーションのほか、本物志向の左の写真のような「パフェづくり」はとても美味しいと好評でした。



クリスマス週間には顔写真入りのクリスマスカードのプレゼント、お正月には「福袋抽選会」を盛大に開催しました。ご利用者からも「とて

も楽しかった」とたくさん声をかけていただき、改めてご利用者の笑顔を見られることが一番やりがいを感じる瞬間だと感じています。

今後考えていることはご利用者の中には介護が必要なため自宅を外出することがなかなかできない方もいらっしゃるため、ご利用者より観たい場所、観たい景色があればご覧になれるよう企画をしていきたいと思えますので、楽しみにしていただけると嬉しいです。



★私の目指すケア

ひたちの長岡ショートステイ

介護職員 鈴木 葉月

私は今年の五月に中途採用でひたちの長岡に入職しました。

以前は、特別養護老人ホームのユニット型で働いていたこともあり、短期入所でもやっていけそうだな。

と思っていました。が、実際働き始めると、利用する方と帰られる方の入れ替わりが常にあり、新しく名前を覚え続けなければいけない事だったり、業務内容も覚えることが多く入職してすぐの頃は不安感が強くなっていき、心折れそうになったりしましたが、上司や、先輩職員が気にかけて下さったり、分からない事は優しく教えて下さるので、不安感は尽きませんが周りの方々のお陰で安心して働いています。

介護職を始めてから現在まで変わらずに思っている支援に入っている事があります。

ご利用者様に「ここは施設だから今までと同じ生活は出来ないし、人も沢山いて面倒掛けられないからこ



れをしたいけど諦めよう。」と思う(4)ず生活をして頂く事です。

そのためには、何をしたらいいのか、支援に入るタイミングは今で合ってるのか。を考え、ご利用者様と沢山対話し、ご利用者様1人1人を知る、ことを大事にケアをしていきます。

さらなる邁進へ



特別養護老人ホームやさと
施設長 高城 裕

明けましておめでとうございます。皆様には、健やかに新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

また、旧年中はひとかたならぬご厚情を頂きありがとうございました。二〇二四年も法人理念である「あつてよかった いてよかった」実現のために、職員一丸となりサービス向上に尽力してまいりますので、本年もよろしくお願い申し上げます。

さて、今年介護報酬改定もありさらに六年に一度の医療・介護・障がいトリプル改定となります。どの業界団体も四年続いたコロナ禍の影響や人材難、ロシア・ウクライナ情勢を起因とした物価高騰など、外部環境の変化を受け厳しい経営状況に直面しています。当然、プラス改定を期待する現場の声も国会へ届けられています。しかし、国の政策は高齢者に限らず、小児化対策にも力を入れ、全世代型を推進しているところ

です。財源から考えても年々、社会保障費が増加し、給付と負担の課題が解消されないままの現状です。社会保障費が増えると、私たちの生活にどのような変化があるのでしょうか。また、私たちは自分の生活を守るために何をしたらよいのでしょうか。社会福祉法人としては、将来を見越したサービス提供、人財育成に取り組まなければなりません。

そこで、各部署において毎年策定している事業計画書については、三年先の介護報酬改定を踏まえた計画書とすることを願いました。

なぜなら、今回の改定で決めきれなかった課題が山積し、再検討しなければなりません。私達を取り巻く環境は、刻々と変化しています。介護業界も常に進化しています。変化に対応できなければ生き残れない時代です。法人理念・経営理念を大切にしながら時代に合わせて、一層努力してまいりますので、引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。皆様のご健康とご多幸をお祈りし新年のご挨拶とさせていただきます。



やさと新年会開催!



子どもたちからのプレゼント

新年あけましておめでとうございます!
いよいよ令和6年が始まりました。
各事業所では新年会や様々なレクリエーションを行い、近くの神社で初詣でお参りを行ってお正月行事を楽しむことができました。



福笑いで挑戦!

やさと イベント便り



出初め式を見にいきました



やさとでは毎年年末にクリスマス会や忘年会、餅つきを行っています。
いつもより豪華な食事も召し上がっていただき、忘年会やクリスマス会では職員たちが用意したプレゼントを贈りました。

「みんなでマラソン」には今年も職員が参加し総合三位入賞となりました！





今年も一生懸命走りました！



ケアハウスやさとの相談員や介護職としてご利用者の生活支援に尽力してきた実川力さんが十二月に退職となりました。
法人から盾と記念品、職員からは花束を贈りました。
長年のお勤めお疲れ様でした。

お疲れ様でした！



あくあく通信



鈴木介護員・第一子、二子（双子）
統斗くん、逞斗くん



石井保育士・第二子
こまちちゃん

とくし丸来港!

やさとでは十月より週に二回、移動スーパー「とくし丸」を利用していただきます。
お菓子やパン、惣菜、生鮮食品等が販売され、実際に品物を見て購入することができるようになりました。



～事故対策委員会より～

ご利用者が安全に過ごせるよう、発生した事故やヒヤリハットの分析を行い、最善の予防策がとれるよう危機意識をもって取り組んでまいります。

【桜の郷 元気】

| 月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 合計 |
|---------|------|------|------|------|------|
| ヒヤリ・ハット | 182件 | 213件 | 171件 | 195件 | 761件 |
| 事故 | 8件 | 4件 | 12件 | 12件 | 36件 |

桜の郷元気の数字内にひたちの長岡の件数も含まれています。

【やさと】

| 月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 合計 |
|---------|------|------|------|------|------|
| ヒヤリ・ハット | 255件 | 256件 | 199件 | 247件 | 957件 |
| 事故 | 10件 | 20件 | 24件 | 14件 | 68件 |

やさとの数字内にデイサービスやさと、ケアハウス、GHさわらび、国府あおいの件数も含まれています。

～身体拘束適正化・高齢者虐待防止委員会より～

現在1名の方が緊急やむを得ず一時的に身体拘束の対象となっております。解除に向けて日々多職種と連携し取り組んでおります。（やさと）

| 月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 合計 |
|-------|----|----|-----|-----|----|
| 桜の郷元気 | 0件 | 0件 | 0件 | 0件 | 0件 |
| やさと | 1件 | 1件 | 1件 | 1件 | 4件 |

～苦情処理委員会より～

【ご意見・苦情内容】

・初回利用で不快に感じる対応をされたご意見あり、配慮不足が原因としてありました。話し合いを行い、利用する背景、状態等に考慮し、ご本人の立場になって支援していきます。（やさと）
・利用料請求に関しての説明不足があり、改善に努めております。（桜の郷）

| 月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 合計 |
|-------|----|----|-----|-----|----|
| 桜の郷元気 | 1件 | 0件 | 0件 | 0件 | 1件 |
| やさと | 0件 | 0件 | 2件 | 0件 | 2件 |

編集後記

新年が明けました。昨年とはみなさまにとってどんな一年だったでしょうか。

新型コロナウイルスも五類に移行し、少しずつ以前の日常が戻ってきたことと思われます。私自身も感染症、病気に罹らないようにより一層健康維持に努めていきたいと思えます。

本年もよろしくお願いたします。

(K・M)